

2025年度 メリー★ポピンズ 北千住ルーム事業計画書

Ⅰ.基本方針

保育理念…「にんげん力。育てます。」

保育目標…「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

施設運営方針「原点回帰～毎日の時間を大切に人格形成の基本を確実に丁寧に～」

① 「基本活動」の深く理解する～ホンモノの体験を～

- ・安全を確保したうえで、あえて危険なものを取り除いたりせず、危険なものとの距離感を学べる環境を作る。
- ・歩きにくい場所や斜面を歩いたり登ったりを経験しながら、自然の中で体幹やバランス感覚を養う。

② 「畑仕事・生き物の世話・たい肥作り」を確実に丁寧にを行う～毎日の活動を大切に～

- ・身近な虫や小さな生き物などの世話を通し、命の大切さを感じられるようにする。
- ・野菜を育てていくことで、食物が実る喜びや育てる大変さを感じ、食べ物を大切にする気持ちを育む。

③ 「混ざる」その先へ 健常児も障害児も生きる力を獲得する

- ・子ども同士のぶつかり合いや葛藤を経験する中で人との関わり合い学ぶ。また、連携園である北千住どろんこ保育園、発達支援つむぎ北千住ルームとも連携を密に取り、年上児や大人数の世界での社会を体験し、人と関わる力を身につけていく。

法人の保育方針に基づき、保育園、地域、保護者が相互に関わり合いながら共育とし、地域に選ばれる園を目指します。

〈Ⅰ〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	生活力を体得できる環境を作る
	実践予定内容	道具の扱い方・遊び・歌をうたうこと等を保育者が常にやって見せる環境を作る。 生きる力（感情制御力・人と関わる力）を育むために、保育者の見守りのもと様々な経験と失敗を体験する場をもつ。
2	計画・ねらい	保育所保育指針にて育むように定められた10の姿を体得できる環境を作る
	実践予定内容	子どもを肯定的に捉える。 10の姿を意識したスタッフ間の対話と計画・振り返りを行う。
3	計画・ねらい	子ども自らがいつでも経験の選択をすることができる物的環境の設定
	実践予定内容	各職員で完結させるのではなく、職員間で共有、意見交換を行うことで、保育の質向上につなげる

〈Ⅱ〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	専門性を生かした保育、保護者が相談しやすい雰囲気作りに務める。
	実践予定内容	お迎え対応時には丁寧に子どもの様子を伝え、気持ちの良い会話を行う。 子どもの園生活や家庭での成長や発達の喜びを共感や共有をしていく。

2	計画・ねらい	自園の強み・特性を生かした園の様子や子どもの姿の記録と公開を行い、情報を発信する。
	実践予定内容	家庭と保育園の連携を密にして、保護者との信頼関係を築き子どもの発達や様子をタイムラインやドキュメンテーションなどを活用してわかりやすく伝えていく。
3	計画・ねらい	一人ひとりにあった離乳食を提供する。
	実践予定内容	家庭との連絡を密に行い、発達に応じて適宜見極める。嚥下と咀嚼についての理解を深め個々に応じて離乳食を進めていくアドバイスを行う。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育、園開放などによって保育園と地域のつながりを持つ。
	実践予定内容	青空保育、地域育児相談、次世代育成支援（実習生、中高生、職場体験、ボランティアの受け入れ）
2	計画・ねらい	地域の子育て世代の方たちが気軽に相談や施設利用に来られる園になる。
	実践予定内容	来園された方たちや散歩先で出会った人たちに青空保育や子育て相談、ちきんえっぐを宣伝し、いつでも訪ねられる施設であることを伝えていく。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	目標を明確にし、職員が自分を高めていけるよう取り組む
	実践予定内容	全職員が組織目標と個人目標を設定する。年2回以上施設長との面談を行い、目標の達成度や自身のスキルの向上等を確認する。
2	計画・ねらい	自ら積極的に学びたい意欲の向上心をもち一人ひとりが高い意識で保育を行う。
	実践予定内容	学びたい分野を選択し、園長大学®を活用。保育実践やスタッフ間でアウトプットする力を身につける。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	五感で畑仕事をする
	実践予定内容	・種まき・水やり・収穫を通し野菜への興味を培う。 ・土に触れ免疫を獲得し 菌に強い体を育てる。
2	計画・ねらい	食（食材）を有効活用する
	実践予定内容	・給食食材のカット方法の変更・皮付き調理・皮の有効活用

2.施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	合計
5人	5人	5人	15人

〈2〉開所時間

7時30分～18時30分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	4人	栄養士	1人
パート スタッフ	保育士	3人		

3.運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	提案と意見交換・園内研修・会議報告・ディスカッション
給食運営会議	月1回	離乳食進行検討・食べたくなる意欲を育む環境ディスカッション
事故防止委員会	月1回	園内外における事故・ヒヤリハット・インシデント事例を基に事故予防と防止の具体的な策を検討
ケース会議	月1回	気になる子についての情報共有と保育方法の確認・検討

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人全体での運営課題の解決、情報共有
施設長勉強会	月1回	業務改善、マネジメント、保育内容の充実を図る検討
食育会議	年4回	給食提供および食育に関わる検討

保健会議	年4回	児童保健に関わる検討
子育ての質を上げる会議	月1回	法人内系列園と実践共有や保育内容の充実を図る検討

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内備品管理・発注
安全対策係	防災実施点検・設備点検・事故防止点検の実施
防火管理者	災害対策・消防計画に則った避難訓練の実施責任・自主点検の実施
食品衛生責任者	給食提供責任・食材の安全衛生管理
畑・生き物係	年間計画に基づいた畑活動の実施、計画の振り返り、畑管理 飼育動物の環境管理、餌の管理・発注

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	・子ども一人ひとりと丁寧に関り、豊かに育っていく上で必要な力の基盤となるものを育てていく。 ・子どもの思いを受け入れ汲み取り、応答的で豊かな関りを通し信頼関係を築いていく。
	下半期 0～1歳児	・選べる環境の中、主体性を大事にして好きな遊びを十分に楽しむ。 ・様々な人との関わりの中で、愛情や信頼関係を育み、喜びを感じることで自己肯定感を高めていく。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月20日と11月21日に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	子どもの食欲と意欲を育てる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な遊びから自然とお腹が空く子、意欲的に食べる子が増えるよう生活の中で保育者、栄養士と食事作りや準備に関わり、子どもの食への関心を広げる。 ・ゆったりとした雰囲気の中で会話や食事を楽しみながら過ごせるよう食事環境を整える。
2	計画・ねらい	給食残渣の削減を計画し、振り返る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分たちで盛り付け、配膳して食べる事を基本として、自分で食べる量を調節していく。 ・給食食材のカット方法の変更・皮付き調理・皮の有効活用
3	計画・ねらい	実体験を通して食や食の循環について興味関心を持つ
	実践予定内容	畑活動から作物が育つことのうれしさや喜びを感じられるようにする。加工食品（梅干し・味噌・たくあん・干し柿など）を作り給食やおやつで使用する。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	歯磨き指導・手洗い、うがい指導
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 5～10月頃・・・手足口病、ヘルパンギーナ 6～10月頃・・・アデノウイルス 11～3月頃・・・感染性胃腸炎（ノロウイルスなど） 12～3月頃・・・インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・該当なし
エピペン使用できるスタッフ	本日現在6名が、研修受講し、修得済み

AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	AED未設置 本日現在6名が、研修受講し、修得済み
その他保健に関する取組	嘔吐処理・おむつ交換手順の周知

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回/4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回/6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回/15日
	不審者侵入訓練	年2回/6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回/5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回/4・7・10・1月の25日
	フロン点検(簡易)	年4回/4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表/毎日	毎日
	衛生管理点検表/毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表/毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿/毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回/5日/全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認/ 保険証期限確認	年2回/4・10月
	身長体重測定	毎月1回/20日
	児童健康診断	内科健診 年2回/6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回/4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回/園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

I	計画・ねらい	自ら経験を選び取ることができる物的環境の設定
	実践予定内容	保育者が一定の距離を取り見守る“もの”を常設することでトラブルを

		経験し折り合いをつける力が育まれていくのを目指す。
2	計画・ねらい	身近な人と関わり安心して心地よく過ごしていく。
	実践予定内容	毎日の掃除、整理整頓を心掛け、必要なものだけがある心地よい環境を整えていく。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

該当なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	毎月消防計画に基づいた避難訓練や消火訓練の実施。
2	実践予定内容	安全計画に基づき事故防止チェック、設備点検チェックの実施。
3	実践予定内容	ヒヤリハット・インシデントの検証を行い、再発防止に努め、その都度保育の見直しを行う。
4	実践予定内容	年2回の不審者侵入訓練の実施。あらゆる場合を想定し、職員で連携し対応できるようにする。
5	実践予定内容	光化学スモッグが発生しやすい気象条件・注意喚起を把握し、発生時に迅速な対応をする。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

スタッフ含め園全体で保育園の社会資源の意義を高い意識でもち積極的に実習等の受け入れを行い、保育の楽しさや面白さを共感する。小規模保育園の良さや職員同様の仲間意識を持ち実習や将来への悩みや疑問に真摯に向き合い保育士への期待感を膨らませられるようにする。

1	実践予定内容	職員が思いやりとプロとしての意識をきちんと見せられるようにする。
2	実践予定内容	実習生には安心して実習を行えるように配慮する。学生自身の気付きを大切に丁寧な振り返りを行い、保育や福祉の現場で活躍できる人材を育てる。保育の楽しさ、一緒に成長する喜びを感じる保育実習の提供をする。
3	実践予定内容	中高生の職場体験を積極的に受け入れ、安心して体験学習を行えるように配慮する。子どもに関わる仕事がどのような仕事なのか、興味関心を広げられるような関わりを持つ。

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉 2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ケガ・ケーススタディ研修 ③ 人権チェック・虐待防止研修	自身の振り返り 「危機管理」についてディスカッション 「こどもの人権」についてディスカッション
5月23日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 物的環境について	自身の振り返り 子どもの姿を通して「環境設定」についてディスカッション
6月27日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② プール・水の危機管理	自身の振り返り 水遊び、プール遊びの危機管理、ロールプレイを通して学ぶ
7月25日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 生活力の体得	自身の振り返り 「日課を通しての子どもたちの育ち」のディスカッションや、理解を深める
8月22日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保護者支援	自身の振り返り 園長大学®「保育園における子育て支援～基本の「き」～」の視聴、ディスカッション
9月26日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフオリジナル研修	自身の振り返り 自ら学んだことのアウトプットの経験、ディスカッション
10月24日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック・虐待防止研修	自身の振り返り 「こどもの人権」についてディスカッション
11月28日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 感染症における基礎知識・嘔吐発生時におけるロールプレイング	自身の振り返り 感染症における基礎知識を身に付ける。嘔吐処理ロールプレイング
12月19日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② スタッフオリジナル研修	自身の振り返り 自ら学んだことのアウトプットの経験、ディスカッション

1月23日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 1年間の振り返り	自身の振り返り 1年間の振り返り
2月20日	18:00～21:00	第1回策定会議	2026年度の事業計画発表 園目標の決定
3月1日	9:00～18:00	第2回策定会議	2026年度の年間計画策定会議 畑研修

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デモンクインターソップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

その地域に住む子どもたちを地域全体で子育てをする意識をもつ。どこの誰であろうと気持ちよく施設利用や園児交流を行い、往来のしやすい開かれた施設となる。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：50名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：千住旭公園にて 集客目標：15名
商店街ツアー	週1回
世代間交流	地域行事参加・老人ホーム訪問・どろんこ祭り・運動会・小中学生の体験学習の受け入れ・近隣学童交流
異年齢交流	近隣連携園(北千住どろんこ保育園)との交流・大きな家と捉え、温かみのある室内環境
地域拠点活動	一時保育事業の実施・子育てサロン・青空保育・保育ママ交流・自治会行事参加・子育て相談
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

対象児なし

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

状況に応じて受け入れを行う。また、行う場合には、関係機関と密に連携を取りながら子どもと保護者への支援を行う。

〈2〉毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：7名予定）

全職員で子ども一人ひとりの育ちを多方面から見て、情報の共有を行い、目標や具体的な取り組みを個別の支援計画に記載していく。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

近隣連携保育園(北千住どろんこ保育園)や情報共有また、足立区と連携し行う。

1.1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 集客目標：15名
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30 集客目標：15名
自然食堂…親子ランチ交流	毎週(水) 10:00～12:00 集客目標：15名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(金) 10:00～12:00 集客目標：15名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：千住旭公園にて開催 集客目標：15名

1.2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2025年5月16日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時30分

自己評価終了予定時刻：17時30分

自己評価実施予定者：施設長、当日勤務スタッフ

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指し	重点施策	青空保育や散歩先で出会った地域の方たちに保育参加やボランティアに参加していただけるよう呼びかける。
-----------	------	---

た姿	振り返り	<p>日々の散歩を通して地域の方たちと挨拶を交わしたり散歩先で遊びに誘ったり、保育定員の発信活動を継続して行った。どろんこまつりや一時保育利用をはじめ、平日にも地域の子育て世代の方たちが来園し施設利用や交流をする機会があった。引き続き地域に開かれた園になるため活動を継続し地域全体で子育てを行っていく意識、姿を広めていく。</p> <p>保育参加への参加がなかったため、保護者にも積極的に広めていきたい。保育参加していただくことで、共に子育てをしていくパートナーとして、一人ひとりの成長や発達を捉え保護者との共有を行い、保護者が安心して子どもを預けられるようにしていきたい。</p>
----	------	---

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・メリー★ポピンズ北千住ルーム、北千住どろんこ保育園、つむぎ北千住ルーム、地域住民との関係が密になる。活動や生活、行事を共に過ごし、関わる全ての大人も子どもも活気がある園となる。 ・丁寧な保育、丁寧な関わりができる園となる。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事や園児・職員交流、保育参加を増やし互いに親しみ合い触れ合える機会を定着させる。 ・言葉遣い、所作を意識し合えるような園内研修を行う。
2026年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育施設との関わりが増え交流が深まる。地域全体がその地域に住む子どもたちの成長を見守る。 ・あたたかい雰囲気の中で、子どもがのびのびと遊ぶことができるような園となる。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・青空保育の見直しを行い、充実した活動を実施する。保育士間のコミュニティを作り、園児交流や意見交換等の往来がしやすいよう努める。 ・他園職員との勉強会や交流を持ち、保育のスキルアップを図る。
2027年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた園になる。 ・子どもも職員も意欲的に生活する。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方がいつでも立ちいれるような保育園であるために、子育て支援を行い、共育を意識する。園運営の理解を深め、接遇や美観を提供し地域の方に愛される保育園になる。 ・やりたいを叶えられるような時間の確保をしていく。

以上